

『川崎警察署文書』の登場人物について

ここに翻刻した『川崎警察署文書』には、全部で230人ほどの人物が登場する。その中には川崎警察分署長梶田定吉や神奈川県警部長高橋仲次をはじめとする警察関係者や、政談演説を行った伊藤仁太郎（痴遊）などの人物を除き、ほとんどが地域各町村の有力者・名望家といった人物である。それは「解題」でも述べた『川崎警察署文書』の性格によるものであるが、ここでは、史料利用の便宜を考え、地域の有力者など重要と思われる人物について、索引を兼ねた人物名をフルネーム、五十音順で表記することにした。

人物名の表記は、主に尾羽沢隆二郎編『神奈川県第二区衆議院議員選挙人名録』（明治23年5月25日印刷）記載の表記にそろえた。各人物については、掲載文書番号と、『川崎警察署文書』およびその他、諸史料から知り得る経歴、肩書きなどを付記した。なお解題でふれた警察関係者、フルネームの判らない人物については、これを除外した。

なお関連事項について若干の解説を付した。

あ

- | | | | |
|---|---|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 青 | 木 | 勝次郎 | 1/33/44/85/96…川崎町新宿の人。同好会員。川崎町会議員。 |
| 青 | 木 | 豊十郎 | 1/8/28/65/70/76/79…田島村長。自由党员。のち県会議員。
明治32年、大島新田埋立事業を行う。 |
| 青 | 山 | 久次郎 | 1/64…大師河原村の養蠶業者。 |
| 秋 | 本 | 太郎 | 53…大師河原村の富豪 |
| 秋 | 元 | 太四郎 | 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。 |
| 秋 | 元 | 富蔵 | 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。 |
| 秋 | 元 | 与五左衛門 | 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。 |
| 畔 | 柳 | 久三郎 | 85/86/88/90/93/94/97…政談演説会の弁士。東京出身の農民。 |
| 安 | 藤 | 清五郎 | 39/40…川崎町の人。演説会に自宅を提供。 |
| 飯 | 島 | 米造 | 60…御幸村南河原の人。 |
| 飯 | 田 | 彰重 | 6/16/33/42/45…子安村の人。のち村長、県会議員、郡長など歴
任。 |
| 飯 | 田 | 快三 | 33/45…大綱村長で県会議員。 |
| 石 | 井 | 今助 | 83…荏原郡羽田村の海苔営業者。 |
| 石 | 井 | 源助 | 34…御幸村字古川の旧名主。 |
| 石 | 井 | 新太郎 | 12/14/53/82/84/85…大師河原村の人。旧村長派。 |
| 石 | 井 | 清太郎 | 1/85…大師河原村の人。 |
| 石 | 井 | 長五郎 | 83…荏原郡羽田村の海苔営業者。 |
| 石 | 井 | 万助 | 33…川崎町の人。 |
| 石 | 川 | 伊三郎 | 14/84…大師河原村会議員。選挙後、自由党へ加入。 |
| 石 | 川 | 善太郎 | 46…大師河原村の人。病気のため第1回衆議院議員選挙を棄権。 |
| 石 | 川 | 長蔵 | 1/12/14/29/33/59/64/82/83…大師河原村の人。明治4年以来、同
村海苔営業者組合の総代。24年には郡漁業者総代、ついで東京内
湾漁業組合神奈川県地方取締役となる。 |

- 石川 長兵衛 12…大師河原村の人。旧村長派。
- 池上 幸操 33/62…池上新田開発者、太郎左衛門の後継。県会議員を歴任。明治17年、自由党员。この時期は県属土木課員。のち県会議長。
- 池上 宗太郎 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ入党。
- 石輪 梅吉 33…川崎町の人。
- 石渡 嘉右衛門 69…大師河原村の人。
- 石渡 嘉七 69…大師河原村の人。
- 石渡 金五郎 1…大師河原村の人。
- 石渡 七左衛門 12/14/33/53/69/70/72/82…大師河原村川中島年寄。新種葡萄の開発者として知られる。新村長派。村長となる。
- 石渡 庄左衛門 1…大師河原村の人。
- 石渡 定右衛門 64/69…大師河原村の養蠶業者。
- 石渡 信太郎 70/82…大師河原村の人。石渡七左衛門の分家。
- 石渡 助五郎 68…大師河原村の土方職。
- 石渡 清次郎 1/14…大師河原村会議員。
- 石渡 政次郎 69…大師河原村の人。
- 石渡 太助 1/12/14/46/53/55/82…大師河原村の富豪。村会議員。旧村長派。
- 石渡 忠右衛門 1/12/14/16/53/63/69/70…大師河原村の富豪。村長となる。新村長派のリーダー。山田泰造の親戚にあたる。
- 石渡 藤太郎 1/12/14/25/26/82/84/85…大師河原村村会議員。のち郡会議員。明治33年には「京浜運河会社」創立発起人に名を連ねている。新村長派。
- 石渡 利右衛門 53…大師河原村の富豪。
- 石渡 与惣右衛門 69…大師河原村の人。
- 和泉 丑五郎 1/14/59/64/83…大師河原村海苔営業人。養蠶業者。
- 和泉 源右衛門 1/12/14/26/29/64/82/84/85…大師河原村学務委員。養蠶業者。選挙後、自由党へ加入。
- 和泉 源三郎 1/12/14/25/85…大師河原村の人。村会議員。のち大師河原の埋立出願に参加。新村長派。
- 和泉 友右衛門 29…大師河原村の人。
- 和泉 八郎兵衛 1…大師河原村の人。
- 和泉 茂右衛門 53/84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
- 和泉 茂八 25/26/53/55/72…大師河原村の名望家。のち村会議員。幕末期から塩田を経営。大正期には関東塩加工工場を設立。
- 出射 五三郎 71…政談演説会の弁士。岡山市出身の平民。
- 伊東 市兵衛 1/15…大師河原村の人。
- 伊藤 権左衛門 1…田島村渡田の人。「北の権左」と呼ばれた豪農。自由党员。のち埋立事業出願。
- 伊藤 仁太郎 33/40/41…痴遊と号す。自由党壮士。政治講談家として著名。

- のち衆議院議員。『痴遊全集』がある。
- 伊藤立志 90…政談演説会の弁士。東京出身。
- 岩田道之助 1/3/4/19…川崎町砂子の商人。川崎駅戸長を経て、明治14年から22年まで県議員。その間、橋樹郡親睦会を結成。神奈川県同好会幹部から改進黨員となる。
- 上田忠一郎 54…橋樹郡高津村溝口の富豪。この地域の自由党の中心人物。神奈川県俱樂部郡部常議員で、川崎支部の主催者。
- 内田佐五右衛門 1/12/14/19/20/25/26/46/63/64/69/76/82/84…旧大師河原村名主。連合戸長。前村長で旧村長派のリーダー。
- 榎本六兵衛 69…大師河原村の人。
- 大江卓 15/87…元神奈川県権令。大同団結運動に参加。第1回衆議院議員選挙当選。
- 大塚成吉 33/34/39/40/44…横浜の代言人(弁護士)組合長。明治20年、横浜法律学校設立。第1回衆議院議員選挙で改進黨系候補者。のち衆議院議員、東京府議会議員などを歴任。
- 大山庄兵衛 1/12/14/19/20/25/26/85…大師河原村会議員。新村長派。
- 岡田重三郎 85/86/88/90/93/94/97…政談演説会の弁士。富山県高岡出身の士族。著述業。
- 小川松五郎 33/61/71/85/86/90/93/94/97…人力車営業組合「だるま組」の元締。演説会に自宅を提供。
- 小野鱗之助 1/33…町田村潮田の人。小野新田の開発者。県議員。養子重行は衆議院議員となる。

か

- 梶貞三郎 33…川崎町の人。のち収入役。
- 檜谷由太郎 90…政談演説会の弁士。東京の農民出身。
- 金子浅次郎 1…住吉村の人。改進黨員。
- 金子駒五郎 69…大師河原村の人。
- 兼田寿太郎 75…政談演説会の弁士。横浜でハンカチーフ製造業を営む。
- 河内峰三 27…日吉村の人。神官。
- 川島勘左衛門 1/12/29/53/76…大師河原村海苔場営業人総代。
- 川島富右衛門 12/26/64…大師河原村学務委員。養蠶業者。「夜光新田」の開発者。政友会総裁鈴木喜三郎の生家といわれる。
- 川田彦太郎 1…自由黨員
- 河原治兵衛 34…御幸村南河原の旧名主。
- 岸藤太郎 55…川崎町の壮士。
- 北田正薫 42…自由黨員。中央で活躍。
- 木村作次郎 1/12/14/17/68…大師河原村助役。村会議員。新村長派。
- 倉形次郎左衛門 1/12/14/16/59/83/8 …大師河原村会議員。旧村長派。
- 倉形仁太郎 85…大師河原村の人。

倉	形	惣右衛門	14/59/64…大師河原村の養蠶業者。
倉	形	惣吉	70…倉形次郎左衛門の長男。
倉	形	戸右衛門	46…大師河原村の人。
黒	川	喜三郎	1…町田村の人。
肥	塚	龍	7/15/19/33…県会議員。立憲改進黨幹部。
小	塚	清五郎	6/44/54…旭村駒岡の人。通称「弁天下の家」。神奈川県倶楽部川崎支部常議員。
五	藤	正隣	86/88…高知県出身の自由党系の壮士。士族。演説会を妨害。
小	宮	庄左衛門	33…川崎町の人。
小	宮	誠三郎	1…同好会員。明治26年、川崎町会議員。
小	宮	隆太郎	33/51…大正元年、川崎町長。川崎初のデパートの創設者。
近	藤	権次郎	46/53…大師河原村の富豪。

さ

斎	藤	丑之進	1/19/34/35/50/70…御幸村小向の豪農。この年、村長就任拒否。
斎	藤	権太郎	53…大師河原村の人。
斎	藤	周蔵	64/84…大師河原村の人。養蠶業者。選挙後、自由党へ加入。
斎	藤	林蔵	34/60…御幸村の人。
桜	井	佐七(吉)	12/14/53/59/70/83…大師河原村の人。海苔場組合総代。旧村長派。
桜	井	七郎右衛門	46…大師河原村の人。
桜	井	甚左衛門	53…大師河原村の富豪。
桜	井	藤四郎	53…大師河原村の富豪。
桜	井	藤八	53…大師河原村の富豪。
佐々	木	若太郎	1/84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
佐	藤	貞幹	2…都筑郡久保村出身の県会議員郡部会議長。第1回衆議院議員選挙に立候補。のち地価修正運動に活躍。
島	田	三郎	33…第1回衆議院議員選挙に横浜から当選。立憲改進黨幹部。
島	田	武助	1/19/33/85/87…川崎町新宿の呉服商。町会議員。学務委員。明治32年には川崎町長となる。
杉	浦	民三郎	90…政談演説会の弁士。東京の商人。
杉	崎	正信	17/70…大師河原村書記。
鈴	木	周庵	53/55…大師河原村の富豪。
須	山	国五郎	68…大師河原村の土方職人。
須	山	啓太郎	64…大師河原村の人。養蠶業者。
須	山	五平次	84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
須	山	三左衛門	64…大師河原村の人。養蠶業者。
須	山	富蔵	46…大師河原村の人。
須	山	仁太郎	84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
須	山	八郎左衛門	1…大師河原村の人。
陶	山	藤五郎	33…川崎町の人。

- 添 田 知 通 21/29/38/44/45/79/82/96…町田村市場の人。川崎宿寄場組合大総代、大区長など歴任。また地租改正掛として尽力。その後、租税課長を経て、神奈川県収税長となる。
- 添 田 知 義 21/27/33/42/50/59/70…知通の長男。村長、県会議員等を歴任し、のち衆議院議員。のち地価修正運動に活躍。

た

- 高 島 嘉右衛門 28…横浜の建築請負業者。鉄道建設に貢献。易断で有名。
- 高 橋 磯 五 郎 59…大師河原村の人。
- 高 橋 助 三 郎 1/14…大師河原村の人。
- 高 橋 善右衛門 1/10/15/38…住吉村北加瀬の旧名主。連合戸長。同好会員。こののち住吉村長。
- 高 橋 弥右衛門 69…大師河原村の人。
- 高 橋 与 一 郎 1/87…川崎町の人。
- 高 橋 録 蔵 64…大師河原村の人。養蠶業者。
- 田 中 亀 之 助 1/10/19/33/44/54/72/73/85/88…旅館会津屋主人。川崎自由党の指導者。のち町長、衆議院議員、京浜電鉄重役などを歴任。
- 田 中 時 次 郎 53…大師河原村の富豪。
- 田 中 豊 吉 96…代言人。
- 田 辺 一 作 27…日吉村駒ヶ橋の農民。
- 田 辺 佐 一 郎 4…橘樹郡親睦会賛同人。同好会員。田島村小田の田辺新田開発者、佐五右衛門の子といわれる。
- 田 辺 重 太 郎 27…日吉村の富豪。
- 土 屋 甚右衛門 33…川崎町砂子の人。明治11年当時の川崎駅総代人。同好会員。
- 寺 尾 喜 助 1/12/14/15/53/54/85…大師河原村の富豪。収入役。料理店「梅園」を経営。
- 寺 尾 唯 八 53…大師河原村の人。
- 寺 尾 与 七 郎 14…大師河原村の人。
- 寺 田 虎 五 郎 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
- 出 川 太 一 郎 1/54…田島村渡田の旧名主、出川太平の後継者。自由党員。のち村長
- 徳 植 竹 之 丞 1/15/19/33/35/38…住吉村木月の旧名主。住吉村長を高橋善右衛門と交互に就任。
- 徳 植 リ ン 35…竹之丞の妻。
- 富 田 良 蔵 90…政談演説会の弁士。東京の農民出身。
- 富 橋 恒 吉 71…政談演説会の会主兼弁士。岡山市出身の平民。
- 鳥 養 文 次 郎 85…川崎町の煙草営業商。
- 鳥 養 弥 兵 衛 19/34…御幸村塚越の旧名主。こののち御幸村長。

な行

- 中 川 清 三 郎 90…政談演説会の弁士。東京出身。

- 中 島 信 行 21/27…元神奈川県令。自由党副総理。第1回衆議員選挙に五区から当選。初代衆議院議長。
- 中 西 三 一 郎 75/85/86/88/89/97…政談演説会の会主兼弁士。福岡県士族出身。横浜在任。著述業。
- 中 野 五 兵 衛 33…川崎町の人。
- 中 野 与五右衛門 33…川崎町の人。
- 中 山 佐 太 郎 69…大師河原村の人。
- 中 山 新 太 郎 64/69…大師河原村の人。養蠶業者。
- 中 山 為 蔵 53…大師河原村の富豪。
- 中 山 信 明 34/45/63/64/70/82…愛甲郡初代郡長。以後、各郡長歴任。この時は橋樹郡長。
- 中 山 峯 三 郎 53…大師河原村の富豪。
- 永 島 長 造 46…大師河原村の人。病気のため第1回衆議院議員選挙を棄権。
- 根 本 清 八 55…大師河原村の人。
- 根 本 助右衛門 1/19/33/55/56/59/65…川崎町砂子の旧名主。町長を明治22年および34～43年と四期にわたって勤めている。神奈川県同好会川崎支部設立の中心人物。
- 根 本 節 之 助 1/33/44…川崎町砂子の人。明治11年当時の川崎駅総代人。同好会員。
- 野 口 清 四 郎 83…荏原郡羽田村の海苔営業人。

は

- 橋 本 万 次 郎 27…日吉村助役。
- 馬 場 金 蔵 46…大師河原村の人。
- 平 川 平 五 郎 1/27/33/85/87/88…川崎町の小間物商。古物商取締。吉田派。
- 深 瀬 久 三 郎 34/77…御幸村の人。
- 深 瀬 啓 十 郎 1/21/38/42…日吉村南加瀬の旧名主。日吉村長。
- 深 瀬 佐 吉 34…御幸村の人。
- 深 瀬 隆 健 53/55…川崎大師（平間寺）住職。大師道を築くなど社会救済事業に献身。また公園や図書館など地域文化の振興に努めた。
- 深 野 半 兵 衛 1/10…川崎町の人。橋樹郡親睦会賛同人。明治26年には町会議員となる。
- 布 川 久 次 郎 12/14/63/84…大師河原村の人。旧助役。選挙後、自由党へ加入。
- 福 井 茂 兵 衛 15…自由党壮士。

ま

- 増 田 知 65…橋樹郡第2代郡長。明治22年、初代横浜市長。この頃は大住・淘綾郡長。
- 松 尾 豊 村 65…橋樹郡初代郡長。以後、県区諸郡長歴任。この頃は足柄上郡長。

松原吉蔵 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
 松本健二郎 75/85/86/97…政談演説会の弁士。東京出身の平民。
 松本徳次郎 63…大師河原村の人。
 宮沢金太郎 64/84…大師河原村の人。養蠶業者。選挙後、自由党へ加入。
 宮沢惣次郎 84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
 武藤磯五郎 14/64/83…大師河原村の人。
 武藤善太郎 1/84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
 武藤萬吉 1/84…大師河原村の人。選挙後、自由党へ加入。
 森五郎作 85…川崎町久根崎の旧村役人。
 森松太郎 1/10/19/33/44/84…五郎作の子。酒造家。自由党の活動家。

や

八木原繁社 42…新潟の人。自由党幹部。
 矢島幸吉 34/70…御幸村上平間の人。御幸村助役。
 矢野右門太 33…横浜代言人組合長。
 山川善太郎 15…自由党の幹部。のち実業家となる。
 山田七五郎 6…旭村駒岡の人。山田泰造の養父となる。
 山田泰造 1/6/8/10/15/16/19/27/30/33/34/35/37/38/39/40/42/43/44/45/63/73/76/
 82/85…田島村渡田出身の代言人。福島事件、大阪事件等の弁護
 活動をはじめ三大事件建白運動、大同団結運動で活躍。自由党
 の再興に貢献し、第1回以来、連続五期衆議院議員に当選。
 吉沢忠兵衛 1…町田村潮田の人。漁業組合代表。のち県会議員、横浜市会
 議員を歴任。
 吉田正春 1/6/10/15/19/27/30/33/34/35/38/39/40/42/44/45/49/59…土佐藩士、
 吉田東洋の子。後藤象次郎の甥。第1回衆議院議員選挙の候補
 者。

わ

和田常蔵 85/86/88/89/97…政談演説会の弁士。東京出身の士族。漁業を営
 む。
 渡辺太郎 55…川崎町の人。
 綿貫久八郎 65…松尾豊材の引立てにより当地へ。川崎駅書記、橘樹郡書記
 などを歴任。

関連事項の解説

会津屋 …幕末から維新时期にかけて「六郷を渡れば万年屋」といわれた
 茶飯屋に隣接した旅館。ここは渡し場から大師参詣道の入口で
 もある。

- 朝 田 屋 …川崎町新宿にあり、明治17年の橋樹郡親睦会や、明治23年の
神奈川県同好会総会など大きな集會に使用された料亭（旅館）。
- 稲 毛 神 社 …川崎市川崎区宮本町にある。川崎の郷社。山王社ともいわれ
る。しばしば一揆などの集會場となった。
- 神 奈 川 県 俱 楽 部 …大同団結運動挫折後、明治22年1月結成の自由党の神奈川県
における支部的組織。監督には中島信行、幹事には森久保作造、
天野政立らがいた。政社法により解散。
- 同 川 崎 支 部 …選挙中にも秘密理に活動。政社法による神奈川県俱樂部解散
後も立憲自由党の支部に組織されている。
- 神 奈 川 県 同 好 会 …明治21年5月結成の県下1区5郡の改進黨系県會議員、財産
家の組織体。発起人は来栖惣兵衛、島田三郎、肥塚龍ら。橋樹
郡の通信員として岩田道之助、根本助右衛門らがいる。
- 三 郡 合 併 懇 親 会 神奈川県第二選挙区となった橋樹、久良岐、都筑三郡の町村長
らによる懇親会。この年、郡制施行問題を機に合併機運が高ま
った。
- 神 風 楼 …神奈川町にあった料亭、旅館。
- 政 社 法 …明治23年8月9日施行の「集會及政社法」のこと。
- 存 娼 運 動 …明治22年12月、横浜青年会臨時総会で廢娼を決議、以後急速
に廢娼は運動として広がり、この23年には神奈川県会で廢娼が
決議された。その中で川崎では町經濟維持の立場から存娼運動
が起こることになった。
- 竹 筒 管 業 …鰻漁のこと。のちには養鰻も開始される。
- 多 摩 川 洪 水 …この明治23年の氾濫は新聞でも大きく取り上げられている。
多摩川流域では慣習として無堤防地帯がおかれ、南河原もその
一つであった。
- 名 古 屋 楼 …神奈川町にあった料亭・旅館。政治的集會によく利用された。
- 米 価 騰 貴 …明治22年は暴風雨、水害により、全国的に不作で、明治23年
6、7月頃になると、米価が高騰。川崎町では祭りも御興のみ
となった。輸入された南京米も貧民層には手が出にくく、粥や
麦こがし、「ふすま」などを食べているという報告がある。
- 見 晴 楼 …川崎町にあった料亭・旅館。
- 横 浜 公 道 俱 楽 部 …明治22年、横浜市制施行に先立ち、貿易商の専断に抗して、
伏島近蔵、吉田健三らにより結成された団体。のちに地主派と
呼ばれる。

（新井 一弘、植山 淳）